



新芳会
鈴木 淳
すずき じゅん

都市計画道路・世界農業遺産申請について 財政難は理解するが、住民の安全を第一に

問 鶴瀬駅西口から国道254号に抜ける都市計画道路の拡幅工事が平成28年12月に完了予定だが、2本の道路の交差点改良工事が始まるのは平成29年度。これは6年前から始まった協議での計画通りなのか。

答 **都市計画課長** 当初は同時期に整備予定であったが、信号機設置に伴う警察からの指導に変更があったため、国道西側の道路拡幅部の用地交渉を新たに進めるようになってしまった。そのため改良工事は平成29年度にずれ込んでしまう。

問 交差点改良工事が終わるまで、特に交差点中央の車の擦れ違い部は今より危険で複雑になる。暫定的な交通規制を行う予定は。

答 **都市計画課長** 人々の危険回避のためにも、これから警察としっかりと協議を行っていききたい。

問 住民の安全や混乱解消のためにも交差点改良工事前の前倒しはできないのか。

答 **町長** 改良工事が1年延びたことで地域の皆さんには大変迷惑をかけている。時間をかけ、安全第一で慎重



早期改良が望まれる交差点

重審議を重ねていきたい。

世界農業遺産について

問 最近の新聞記事からも今後の世界農業遺産認定は厳しくなりそうだが、関係市との認定に向けた熱意の差を町はどう感じているか。

答 **観光産業課長** 温度差が多少あるのは事実。関係市の理解を深めて再申請に向けて意思統一を図りたい。

問 認定への町の認識は。

答 **観光産業課長** 対象地域の問題をクリアできれば可能性はあると考えている。

問 町では認定への挑戦をいつまで続ける考えか。

答 **町長** 新規認定に関してはそんなにこだわっていないが、申請による成果や効果、意識の変化は大きい。



公明党
岩城 桂子
いわき けいこ

町の歳入増の対策について！ 三芳町ペットボトル水の販売は！

問 町の財政が大変厳しい状況の中で行財政改革や無駄削減の取組みは。

答 **政策推進室長** 事業の見直し、使用料や人件費の見直し、省エネ、ノー残業デー等に取り組んだ。

問 防犯灯のLED化をエスコ事業で推進しては。

答 **道路交通課長** 二酸化炭素や経費削減のためになるので検討していく。

問 町の歳入増のために職員駐車料金月2000円の他市との整合性はどうか。

答 **財務課長** 金額の妥当性を検証し検討していく。

問 公用車にラッピング広告を利用してはどうか。

答 **財務課長** 新たに車両購入する場合に準備する。

問 学校教職員の駐車料金ほどのように支払われるか。

答 **学校教育課長** 公用車がなく、公務で使用するので料金は取っていない。

問 水道事業として三芳町の井戸水をペットボトル水として販売してはどうか。

答 **上下水道課長** 収入や販売コストを考え今後実施してみたい。



役場内の広告案内板

食品ロス削減について

問 災害備蓄食品の有効活用について消費期限6か月前にフードバンク等への寄付などはできないか。

答 **自治安心課長** 現在は、学校や行政区に配布しているが検討していく。

問 町内事業者との協定で子ども食堂や生活困窮者支援への活用はできないか。

答 **福祉課長** 社会福祉協議会と連携し福祉支援へ検討していきたい。

通学路の安全対策は！

問 竹間沢小学校の通学路で歩道のない幹線22号線を通学する児童の危険防止は。

答 **学校教育課長** 3年前学校、保護者等で確認し安全のため遠回りになった。



公明党
内藤美佐子
ないとう み さ こ

「三芳太陽の家」の移設について 障害者差別解消法に沿った施策の推進を！

問 障がい者施設「三芳太陽の家」の利用者や保護者は、当施設が町中心地より離れていることに不安を感じているのをご存知か。

答 **福祉課長** 地理的不安については常々聞いている。

問 当施設を町中心地に移設すべきと思うが如何か。

答 **町長** 藤久保地域拠点施設の建設についてワークショップを開催し、メリット・デメリットや統合施設について協議中だ。利用者の皆様の声を受け止め、当施設統合について努力したい。

清掃工場の跡地利用

問 平成28年秋、当町の清掃工場は閉鎖となる。今後の跡地利用について検討は。

答 **環境課長** 庁内関係会議で検討しているが、計画を纏めるには至っていない。

問 この地を官民学連携で観光資源に変えてはどうか。

答 **観光産業課長** 観光の拠点がない状況を、そのよくな形で力をいただければありがたいと思う。

学校PTAについて

問 学校PTAの法的位置

付けと保護者の加入義務は。

答 **学校教育課長** 社会教育関係団体であり全員を強制加入させるものではない。

問 活動対象について会員又は非会員の子供の区別は。

答 **教育長** 対象はその学校全児童生徒であり、区別があつてはならない。

災害弱者対策の推進

問 協定を結んでいる福祉避難所の受入れ人数の把握や介護支援者の確保は。

答 **福祉課長** 受入れ人数の調査をする。有資格者やボランティアは、施設側が確保に務めるとしている。

その他の質問

- ① 発達障がい児の避難所対策
- ② 車中泊避難への対策
- ③ ペット同行避難について



心身障害者地域授産施設
「三芳太陽の家」

交通死亡事故ゼロのまち！ 高齢者運転免許証自主返納メリットについて



三芳みらい
安澤 豊
あん ざわ ゆたか

問 平成28年4月現在の三芳町高齢化率は26・7%、平成37年には28・8%となり、高齢者人口の約6割を後期高齢者が占めると推定される。自動車運転免許証には自主返納制度等があるが、高齢者ドライバーの事故防止安全対策の観点から、近年の65歳以上の運転免許証の自主返納者はどの程度の人数か。

答 **自治安心課長** 東入間警察管内集計では、平成26年698件、平成27年725件。

問 高齢者運転免許証自主返納者に対するメリットとし、ライフバスの無料乗車券を配布するなどの考えは。

答 **政策推進室長** 運行経路の観点から地域差がある為、現在は考えていないが、運転免許証自主返納者の町内移動をどうサポートしていくか、今後研究していく。

問 他市では、管内のタクシー協会に働きかけ、料金割引サービスなどを行っているが、当町の考えは。

答 **自治安心課長** 県内ではいくつか実施しているところがある。県の協賛企業を活用する方向で、東入間

管内広域で検討したい。

問 高齢者の交通安全対策の一環とし、運転免許証の自主返納者に対し、他自治体で実施されているような自主返納メリット支援事業を作る考えは。

答 **町長** 東入間管内でも高齢者と自転車の事故が増えてきている。自転車においては条例を本定例会に提案しているが、高齢者の安全対策としてはまだ不十分である。自主返納制度を検討し、加害者にも被害者にもなる悲惨な事故を無くすように考えていく。

その他の質問

業務継続計画（BCP）について



免許証自主返納ロゴマーク



公明党
小松伸介
こまつしんすけ

三芳町の未来を決める各施策について 町民のいのちと財産を守る防災対策拡充は

問 全国的に地中空洞化による道路陥没事故が多発している。空洞化調査実施は。

答 町長 緊急避難路等について財政と相談し、可能な限り早めに調査研究する。

問 災害に強いまちづくりを進めるため、国土強靱化地域計画を策定しては。

答 政策推進室長 埼玉県の策定状況を注視しながら、関係課の検討体制を構築した上で、検討を進めていく。

三芳町まち・ひと・しごと創生総合戦略

問 若者の就労支援策は。

答 観光産業課長 関係機関と連携し、求人情報の提供や、就職セミナーを実施。

問 三芳賑わいバザール公園整備事業の今後の予定は。

答 総合調整幹 国のモデル事業に申請済。こうした事業を活用し、整備を進め、将来的に多機能を有した公園に発展させていきたい。

問 空家活用定住促進事業を具体的にどう進めるか。

答 政策推進室長 空家の実態を把握し、関係機関と連携しながら、空家情報の

発信について研究していく。

問 出会いの場創造事業を具体的にどう進めていくか。

答 政策推進室長 既存事業を活用しつつ、具体的な展開を検討していきたい。

問 当町への定住促進を図るため結婚祝い金・入学祝い金・転入者引越し奨励金制度を導入しては。

答 政策推進室長 有効と思うが財政上、現状は困難。

問 高齢者の就労等社会参加推進事業をどう進めるか。

答 福祉課長 2市1町シルバー人材センター合併で、今迄より就労の幅が広がり多様な選択肢が想定される。

問 住居表示整備事業は。

答 政策推進室長 検討委員会を立ち上げ、対象区域や時期、費用等を検討し、基本的な方針を考えていく。



道路陥没写真



新芳会
細谷三男
ほそやみつお

災害発生時には迅速な対応！ 罹災証明書のスムーズな発行で不安解消を

問 ここ5年間の災害種別ごと罹災証明発行件数は。

答 自治安心課長 町で発行した件数は23件である。

災害種別の内訳は、東日本大震災で、壁、屋根、家財で17件。大雪でのカーポート4件。台風で1件。落雷1件。消防署で発行した火災件数が94件である。

問 罹災証明書は、地域防災計画に基づいているか。

答 自治安心課長 火災での罹災証明書以外は、町の書式によるものである。

問 罹災証明書台帳の整備保管はされているのか。

答 自治安心課長 東日本大震災以後は、履歴をリスト化して、証明書原本或いは証明書の写しを検索できるようにになっている。

問 罹災証明発行担当者、どのような研修・講習を受けているのか。

答 自治安心課長 罹災証明書発行事務で特段の研修はないが、災害対策本部が設置されると、事務分掌で税務課が担当になることから、広域の研修に参加している。家屋の全壊、半壊に着目した研修のようである。

問 災害時の罹災証明書発行事務について、家屋評価、防災担当の経験豊富な職員OBを予め委嘱しておくことを提案したいと思うが。

答 自治安心課長 OBの経験を災害時に活かすことは大変強いと思うが、作業時に危険を伴うことや、職務権限等の課題もある。関係各課と勉強してみたい。

職員資格等を活かした適正配置について

問 各課により業務多忙の期間が異なる。予め熟練者に辞令を発行しておき、一時的に配置換えをして、事務効率の向上を考えては。

答 総務課長 各課相互の応援体制は、重要であるから今後研究していきたい。





三芳みらい
山口正史
やま ぐち まさ ふみ

生活困窮者の自立支援に関して

貧困の連鎖を断ち切るために

問 子育て中の家庭が貧困に陥ると、貧困の連鎖が起きる可能性が高いと言われている。生活困窮者が自立することは町にとってもメリットがあると考えるが。

答 福祉課長 税や公共料金の滞納解消と共に、次世代を担う子供達の健全育成を図る事にもなり、大きなメリットがあると考える。

問 生活困窮者が自立するために重要な事は。

答 福祉課長 長期で見ると安定な収入を得る為の就労が重要と考える。

問 生活困窮者支援法では就業支援は社会福祉協議会等が行うことになっている。身近な自治体の支援が重要と思うが、町の支援体制は。

答 福祉課長 生活困窮者に特化した就業支援は行っていない。

問 町内企業との連絡を密にし、企業が地域にどのような貢献を考えているかを把握し、生活困窮者の就労支援の依頼を行うべきでは。

答 観光産業課長 3年前に地域経済活性化懇談会があったが、就労支援に限らず

企業との連携が大切だ。

三芳町の財政に関して

問 平成28年度も財政状況は厳しかったが、次年度以降は更に厳しくなる予想だ。これに対する対策は。

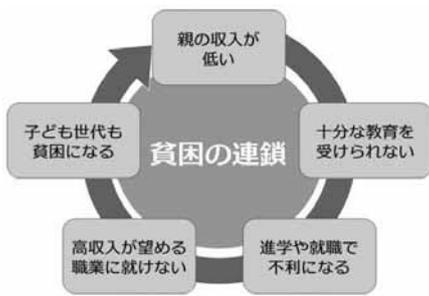
答 財務課長 歳入の増加が見込まれない以上、即効性のある財政改革が急務と考えている。

問 何故、町の財政がここまで悪化したのか、今後はどうなるかの町民への発信が無いのでは。

答 政策推進室長 色々な機会を捉えて情報発信をしていきたい。

問 有識者や町民で財政分析・改革案作成を行っては。

答 政策推進室長 有識者を交えたプロジェクトに関する検討を行いたい。



三芳みらい
抜井尚男
ぬく い ひさ お

児童虐待撲滅!子供の笑顔溢れるまちづくり

児童福祉法改正に伴う町の取組みについて

平成28年5月に北海道で起きた男の子の山中置き去り事案や、1月に狭山市で起きた22歳の母親と同居男性による3歳女兒に対する保護責任者遺棄事件等々、近年の児童虐待増加は大問題である。児童福祉法等の改正に伴う三芳町の虐待撲滅に向けての取組みについて問う。

問 全国では5年間で約8倍の9万件弱、埼玉県で7千件と児童虐待相談件数が増加している現状をどう捉えているか。

答 とも支援課長 児童虐待は児童の健全な心身の発達や発育及び人間形成に深刻な影響を与え、著しい人権侵害である。増加の要因は子供や家庭を取巻く社会や経済状況の変化、子育ての困難さや孤立化によるものと考えられる。町では関係機関との連携や子どもを守る地域ネットワーク協議会との連携を強化しながら児童虐待防止対策を推進する。

問 虐待相談件数の推移は。

答 とも支援課長 三芳町内では平成27年度は減少したが、年々増加の傾向で

ある。

問 相談内容の推移は。

答 とも支援課長 身体的虐待(暴行) 心理的虐待(暴言や親のDV) やネグレクト(育児放棄)が多い。

問 町内の児童虐待相談の傾向と推移を踏まえて対策をどの様に行っていくのか。

答 とも支援課長 虐待の早期発見及び適切な対応に努める。虐待予防として要保護児童の処遇の検討や実務者会議の強化・充実を図っていく。

問 児童福祉法改正では市町村の役割・責務を明確化するとあるが町の対応は。

答 とも支援課長 虐待発生予防及び迅速対応が重要である。対応マニュアルは作成済、職員が児童相談所や県の研修を受け迅速な対応が出来る体制を整える。

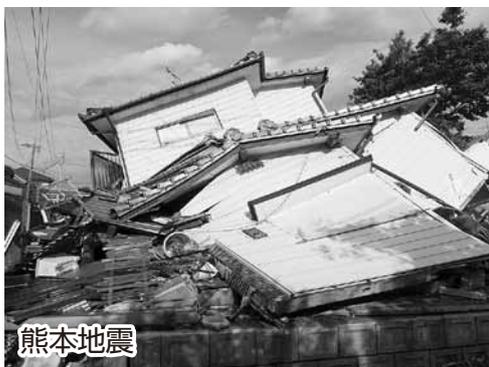




日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし

災害時の住民・災害弱者の安心安全は 熊本地震から学ぶべきことは

- 問** 指定避難所の安全点検は行っているのか。
- 答** 教育総務課長 月一度定期点検を実施している。
- 問** 公共施設の緊急点検を実施してはどうか。
- 答** 財務課長 折を見て特別に実施したい。
- 問** 熊本地震でも問題となった福祉避難所(高齢者・障がい者・乳幼児など、特に配慮を要する者の避難施設)の住民への周知方法は。
- 答** 自治安心課長 地域に周知、訓練の中でもモデル地区を定めるなど、制度があることを説明していきたい。
- 問** 福祉避難所の人材確保は。
- 答** 福祉課長 災害ボランティアセンターと協力、確保に努めたい。
- 三芳町の子育て支援策について**
- 問** 第3子以降の学校給食費補助を廃止した理由は。
- 答** 学校教育課長 国の補助金交付が無くなり、財源が確保できず廃止した。
- 問** 医療費の18歳まで無料化についての考えは。
- 答** ことも支援課長 町の財政状況を考えると難しい



熊本地震

- が、ひとり親家庭は実施済。
- 問** 子育て支援の中で「よみ愛・読書のまち宣言」をどのように活かすか。
- 答** 図書館長 多くの親子が魅力ある絵本に出会い、楽しく子育てができる町にしたい。
- 三芳スマートーC交通安全対策について**
- 問** 三芳スマートーC安全対策等調整会議における、看板、路面標示などの短期対策のみで開通して良いのか。
- 答** 町長 警察も入って協議しているので、最低限の安全は確保されていると認識している。



日本共産党
増田 磨美
ます だ ます み

お年寄りにベンチを!子ども達に日影を! 公立保育所 民営化検討委員会について

- 問** 縁石に座って休むお年寄りを見てどう思うか。
- 答** 都市計画課長 自転車との接触事故や熱中症も心配。
- 問** ベンチを置くべきでは。
- 答** 都市計画課長 置く場所を含め研究していく。
- 問** 公園に日影が無いが。
- 答** 都市計画課長 藤が育つまで何とか方法を考える。
- 芸術文化事業の推進**
- 問** 町民の活動を支援する事を目的に平成27年度より、芸術文化支援事業が始まった。事業は決定したのか。
- 答** 生涯学習課長 2団体が決定し、実施もしている。
- 問** 芸術文化の分野において、継承し継続させていく事は難しいが、生涯にわたり学びと活動の場として非常に重要な事業。どのように発展させていくのか。
- 答** 生涯学習課長 制度を広め、住民が主役となる活動を支援するため、十分考えて進めていきたい。
- 保育所民営化検討委員会公募委員の選考は**
- 問** 審議会等の委員会公募
- に関する要綱第8条には、選考委員会を設置し公平に行うものとするところがあるが、どのように選考されたのか。
- 答** 副町長 委員会設置要綱第6条の選考基準に則り、公平に選考した。
- 問** 委員会の内容を考えると民営化を推進する意見と公立保育所を残していく意見があると思うが、様々な意見の人を選ぶことが公平という事ではないか。
- 答** 副町長 賛成反対の立場を明らかにしている人は少数。内容に関心があり参加したいという人を選考。
- 問** 民営化検討委員会は、あと3回で提言を出すそうだが、拙速すぎないか。
- 答** ことも支援課長 期間でなく集中的にやっていると効果が効率的だと思う。



日影の無いベンチで休む子供たち



新芳会
細田 三 恵
ほそ だ みつ え

通学路の安全について 生涯現役人生を家族の力、地域の力に

問 町内での通学路の危険箇所はどの程度あるか。

答 **学校教育課長** 平成25年度から3年間で16か所改善。2か所は、藤久保と竹間沢の信号設置待ちの状況。

問 小学校、中学校の交通安全教育についてはどのようにされているか。

答 **学校教育課長** 小学校においては、東入間警察署他指導の下、年度初めに交通安全教室を行っている。中学校においては、埼玉県主催のスケアードストリート、スタントマンによる模擬事故の場面を見学して自転車安全利用の意識を高める取り組みなどを行っている。

問 町では安全な通学路の設定基準についてどのように考えているか。

答 **学校教育課長** 児童の登下校時刻、交通量や見通し、地域状況、保護者や地域要望も含め検討している。

問 竹間沢通学路（幹線22号線）の危険解消策は。

答 **学校教育課長** 交通量も多いと認識している。歩道が狭くガードレール等設置されていない為、児童生徒には周囲の安全を確認し



危険な通学路

ながら一列歩行を指導している。

答 **道路交通課長** 写真の資料を見させて頂き、大変危険だと重々承知している。今後、都市計画課、教育委員会とで、協議していく。

問 マンション横に5世帯程住宅があるが、その子供たちの通学路を変更してはどうか。

答 **学校教育課長** 幹線22号線を歩く事になるので、道路の状況を見て、学校と協議していく。

生涯現役人生を家族の、地域の力に

問 母子手帳の他に「祖父母手帳」を作っては。

答 **こども支援課長** 三芳町の特徴を生かし検討する。



三芳みらい
井田 和 宏
い だ かず ひろ

平成 28 年度三芳町施政方針について 新たな一歩を踏み出す年。その方向性は？

問 第5次総合計画、地方版総合戦略がスタートする平成28年度の位置付けは。

答 **町長** 三芳町の未来のまちづくりの真価が問われている。新たな気持ちでチャレンジしていきたい。

問 町政運営における「企業家精神」とは。

答 **町長** 変化をチャンスと捉え、新しい価値を創造しイノベーションを起こしていくまちづくりが必要になってくると考えている。

問 今後の協働によるまちづくりの方向性は。

答 **自治安心課長** 協働を更に深化させ、多様な主体が連携できる方向性に導いていきたい。

問 財政硬直化の構造的な課題とは。

答 **財務課長** 扶助費の増加、公債費の増加、税収の伸び悩みが課題である。

問 具体的に「受益と負担、選択と集中」とは。

答 **政策推進室長** 公共施設の使用料、減免規定の見直しや第5次総合計画に示した施策を進めていきたい。

問 持続可能なまちづくりのための税収の確保は。



平成 28 年度からスタートする第5次総合計画

答 **財務課長** 企業誘致を促進し固定資産税、法人町民税の増加を図りたい。

問 「みどり共生産業ゾーン」において地区計画や土地区画整理事業の考えは。

答 **都市計画課長** 現状では、ある一部の区域を指定しての開発行為の方が相応しいと考えている。

問 「建築物の建ぺい率・容積率の見直し」は。

答 **都市計画課長** 市街化調整区域の一部について見直しを考えている。

問 財政状況が厳しい中での特性・資源を活かすまちづくりの進め方は。

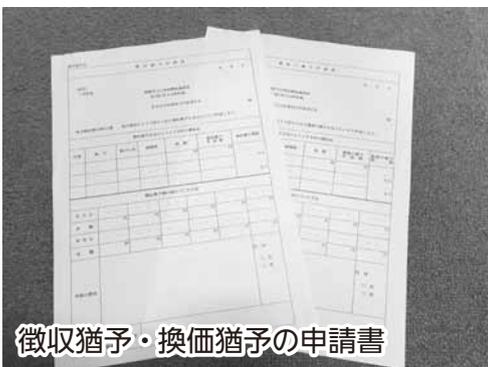
答 **町長** 多くの住民参加により良い政策を作り、町の資源を活かしていくことが課題となってきた。



日本共産党
吉村美津子
よしむら みつこ

生活を重んじる地方税等の徴収体制 滞納者を追い込むのではなく生活再建支援を

- 問** 町の差し押さえ件数は。
答 税務課長 平成26年度は410件、平成27年度は356件。
- 問** 平成18年度は13件、平成20年度は21件と過去は少なかった。平成26年度のふじみ野市、富士見市の差し押さえ件数は。
答 税務課長 県税事務所の資料では、ふじみ野市571件、富士見市324件。
- 問** 町の差し押さえの割合はとも高い。差し押さえを行う前に、話し合いをするべきでは。
答 町長 相談をすることが大事。
- 問** 生活困窮者に対して差し押さえはやめるべきでは。
答 町長 心配のないように対応したい。
- 問** 差し押さえ品目は。
答 税務課長 平成27年度は、不動産8件、預金135件、生命保険118件、給与49件、その他46件。
- 問** 預金、生命保険、給与などの差し押さえは、本人の許可なく法の下で実施されているが、本来、本人の許可を得るべきと思うが。
答 町長 法はあるが、できただけ努力をする。
- 問** 車、絵画、商品券など差し押さえた品物を役場1階で公売の展示をしている。絵画など所有者が特定されてしまう場合もある。プライバシーの侵害である。富士見市やふじみ野市では、公売展示は行っていない。町も、人権侵害の展示はやめるべきでは。
答 町長 検討する。
- 問** 上下水道課長 平成24年度0件、平成25年度0件、平成27年度166件。
答 町長 検討したい。
- 問** さいたま市では、減免制度を適用している。当町も同様の減免制度を行うべきでは。
答 町長 検討したい。



徴収猶予・換価猶予の申請書



久保健二
くぼ けんじ

高齢者の憩いの場! ふれあいの場! の提供を 児童・生徒の運動能力、更なるスキルの向上

- 問** ふれあいセンターが9月閉館予定となっている。10月以降の動向が注目されるが、今後の計画、予定は。
答 福祉課長 社会福祉施設を借用して事業を行う案を検討、調整を行っている。
- 問** 老人クラブ連合会の総会で、10月以降利用の具体的な施設名が挙げられたようで、大半の方が「かしの木ヶアセンタ―」を利用出来ると思っっているが、実際にどのような話だったのか。
答 町長 住民の方が心配しているということで、その施設に行つて工事の進捗状況を確認し、結果10月には移れる旨の話をしたが、最終決定ではない。
- 問** 万が一、工事が終わらなかった場合、どの施設を利用するようになるのか。
答 福祉課長 現在の施設を継続して利用する、他の代替地を検討する、その2つになってくると思う。
- 災害、老朽化への備え**
- 問** 土日、祝祭日、時間外に災害が発生した際の、利用者への支持や誘導はどのように行なわれるのか。
答 自治安心課長 それぞれ施設管理者が定めた危機管理避難マニュアルに基づき利用者を誘導。
- 問** 公共施設マネジメントにより、今後廃止や統合が検討されている集会所は。
答 自治安心課長 一行政区に複数の集会所がある場合は統廃合の候補になる。
- 問** 畳の張替え等、要望があつてから数年経つても未だ修繕、改善がされていない箇所はどれくらいあるのか。
答 自治安心課長 畳やエアコンの修繕など未対応箇所は3、4か所だと思つた。
- その他の質問**
- ①三芳中学校校門の水溜り問題②町内小・中学校の運動能力の向上、クラブ活動の種類、成績、顧問の配置について。



災害、老朽化への対応が注目される各区集会所